

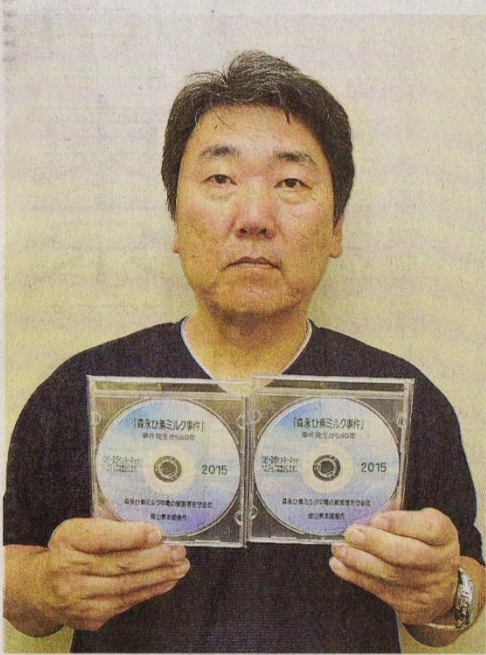
# 風化防止にDVD作成

西日本を中心に多くの被害者を出した「森永ヒ素ミルク中毒事件」の発覚から24日で60年となるのに合わせ、被害者を守る会県本部(岡山市北区柳町)は事件を記録したDVDを作成した。ヒ素の影響で腹部が黒く変色した乳児や母子が殺到した病院など約200枚の写真を収めたほか、発生に至った背景にも迫っており、「事件の風化を防ぐため活用してほしい」と、希望者に販売する方針。(難波孝光)

## 森永ヒ素ミルク中毒事件60年

県本部は、事件に関するD 栄養児に奇病 肝臓がはれ貧VDを内部資料として作って「血」と事件を最初に報じたいたが、教育、医療関係者ら 山陽新聞の記事を紹介。乳から「講義で使いたい」など 児を抱えた診察待ちの母親の声が寄せられたため、一般で埋め尽くされた病院ロビー配布用に約45分の映像に再編集し、ヒ素が混入していた粉ミルクの缶、病院に届いた大

完成したDVDは、「人工量の注射薬などの写真も盛り



作成したDVDを手に「事件を後世に語り継ぎたい」と話す菅野さん

## 被害者を守る会県本部 本紙記事や写真

内部資料を再編集

**スーム** 森永ヒ素ミルク中毒事件 1955年、森永乳業徳島工場で製造した粉ミルクを飲んだ乳児の間で肌が黒く変色して腹が膨らんだり、下痢が続いたりする症状が相次いだ。岡山が原因のヒ素を粉ミルクから検出し、県が同8月24日、事件を公表。当時の国の発表では約130人が死亡した。今年3月末までに確認された被害者は、亡くなった人を含め1万3440人になる。

事件が起きた背景にも言及。「食品を扱う企業側に注意義務が欠如していた」「高度経済成長期に企業利益が、消費者の命より優先された」などとナレーションや文字で指摘している。

DVD作成を含めた「60年記念行事」の実行委員長を県本部で務める菅野孝明さん(60)＝岡山市中区＝は「身体の障害など今も後遺症に苦しむ被害者は多い。60年前の惨劇を語り継ぎたい」としている。

DVDは1枚千円。当面の配布用に200枚を作った。問い合わせは、被害者救済団体のひかり協会(086-232-3855)。